



イラストを描いて身近な生き物の生態について話す松岡達英さん＝23日、アオーレ長岡

身近な生き物観察を

絵本作家・松岡さん語る

長岡の子ども絵画コン

子どもたちが自由な感性で描いた絵を募集した「KIDS絵画コンクール」の作品展が長岡市のアオーレ長岡で開かれている。23日

には自然を題材にした作品で知られる同市在住の絵本作家、松岡達英さん(72)のワークショップが開かれ、身近な生き物を観察するお

もしろさを伝えた。

コンクールは高田建築事務所(長岡市)が主催。アオーレには家などを描いた574点が並んだ。

ワークショップには親子連れら約140人が参加。コンクールの審査員を務めた松岡さんは、土に掘った穴で暮らす虫に卵を産み付けるハチの生態などについて紹介。「絵を描くときは観察が大事」と呼び掛けた。

コンクールの授賞式も行われ、最優秀賞には新潟市西区の寺尾幼稚園の高瀬陽向ちゃん(6)が選ばれた。大好きなカエルを描いたといい「賞がもらえてうれしい。カエルの模様がよ

く描けた」と話した。

作品展は24日まで。入場無料。問い合わせは高田建築事務所、02588(36)1230。